

# 東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働合  
横浜地方本部  
発行者/小清水和彦

## 申第18号「東海道線大船駅構内で発生した異線現示」 に関する団体交渉を行う！

- 1項: 今回の事象に対する異線現示・異線進入に至った時系列を明らかにすること。  
2項: 異線現示に至った原因を明らかにすること。

回答: 2023年5月23日(火)6時27分頃、工 9894D列車が東海道旅客線から東海道貨物線に渡り大船駅を通過する際に、軌道回路上において一時的な不正落下及び不正扛上が発生し、先行列車に対する場内信号機のルートが保持されていたところに、後続 1826Eが東海道貨物線に誤進入したものである。

組合: なぜ今回このような事象が発生したのか。

会社: 大船駅構内において軌道短絡が発生し不正落下・不正扛上が起きたため、異線現示・異線進入に至った。

組合: 異線現示が発生したのは何が原因なのか。

会社: レール上のサビ等を原因とする複合要因と思われる。詳細は調査中。

- 3項: 今回の事象に対する具体的な対策を明らかにすること。

回答: 引き続き必要な対策は実施していく。

組合: 今回の事象に対する対策は「必要な対策を実施していく」としているが、どのように行っていくのか。

会社: レール研磨と乗務員区における要注意信号の再徹底を行っている。恒久対策については原因調査を行っているところであり、今示すことはできない。

組合: この間の対策を引き続き行うとなると、また起こる可能性もあるのではないかと。

会社: 少なからず状況によりゼロではない。乗務員による注意喚起の再徹底を行っていく。

組合: 今回だけエラーが起きたとなると、他に何かサビ以外の要因があるのではないかと。対策は運転士任せにさせてはいけない。

会社: 具体的な対策は検証をしながら検討をしている状況である。

組合: 交渉により確認できた点もあれば、まだ不明確な点もある。今後も安全を追求し恒久対策を求めていく。

**交渉では会社に対し原因究明と恒久対策を強く求めました。  
しかし、対策については今後の具体的な対策を会社は示すことが出来ませんでした。**

**引き続き恒久対策を求め、継続議論をしていくことを確認！**